

兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 20号)

2026年4月9日発行
 兵庫のに研究所

小型珪藻のレプトシリンドラスが確認されますが、前回(4/1)よりも減少しており、海域全般に珪藻の発生量は少ない状況です。窒素は、下げ潮での調査であったことから、海域地先、一部の海域沖筋では陸水の影響が強くと見られ、概ね3~7 $\mu\text{g-at/L}$ 台、その他の海域で概ね1~2 $\mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均12.2℃ (平年比0.4℃、昨年比0.8℃ともに高い)。(塩分) 平均32.74psu。前回(32.78)より0.04psu低い。

(珪藻、栄養塩)

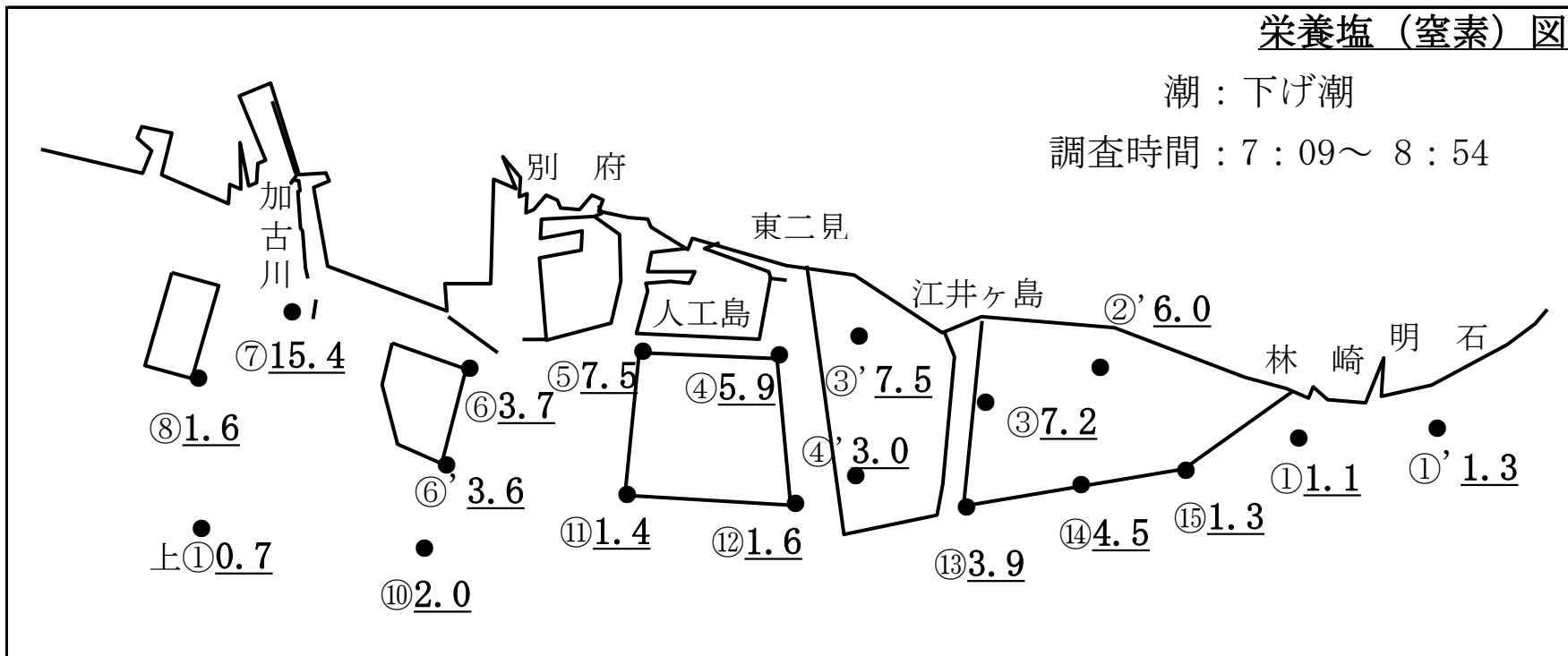
前回、別府漁場以西で多く確認されたスケルトネマは確認されなかった。また、地点①'ではレプトシリンドラスが他よりもやや多く確認された。

海域地先(八木鋼管漁場~別府)、海域沖筋(⑥'④'⑬⑭)では、陸水の影響が強くと見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.6	12.2	11.8	11.4
窒素	4.2	4.2	3.4	2.6
リン	0.30	0.33	0.29	0.28

(4/1) (4/9)

2026年4月9日調査
栄養塩(窒素) 図



水温図

